

2020年3月期第2四半期

決算説明会 プレゼンテーション資料

2019年11月25日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要（連結、セグメント別） … P 3
- 2. 損益計算書（連結、個別） … P 5
- 3. 部門別の概況 … P 7
- 4. 貸借対照表（連結、個別） … P 13
- 5. キャッシュ・フロー（連結） … P 17

II. 中期経営計画の進捗

- 1. 新中期経営計画 骨子 … P 19
- 2. 新中期経営計画
企業理念と経営基本方針 … P 20
- 3. 新中期経営計画 重点施策 … P 21

- 4. 新中期経営計画 … P 24
経営目標と経営指標
- 5. 新中期経営計画 財務方針 … P 25

III. 2020年3月期 業績見通し

- 1. 2020年3月期の業績見通し（連結） … P 27
- 2. 配当 … P 28

I. 決算の概要



1. 2020年3月期第2四半期 ①決算概要（連結）

● 経営環境

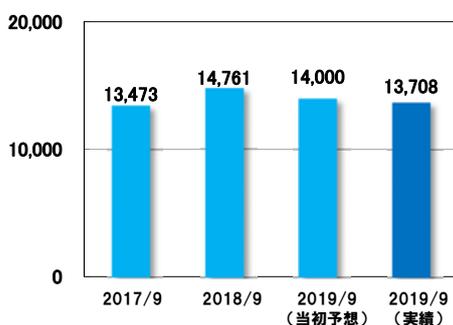
- 米中の貿易摩擦や中国をはじめ海外経済の先行きに関する不透明な状況が継続
- 雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移

● 決算概要

- 売上高は、主に資源金属素材関連で減収になったことを受け減収
- 利益は、プラント・設備工事関連が堅調であったことから、前期比増益を確保
- 第2四半期で過去最高益を達成

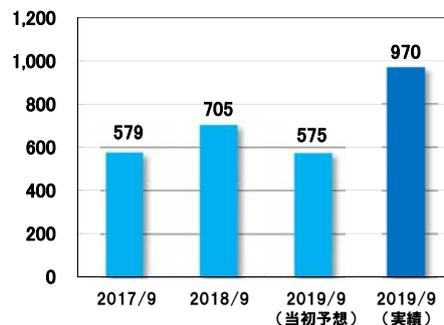
売上高（百万円）

137億8百万円
（前期比 ▲7.1%）



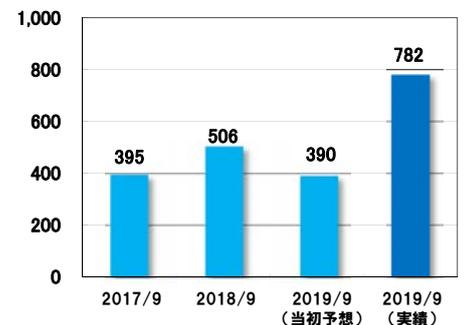
経常利益（百万円）

9億7千万円
（前期比 +37.7%）



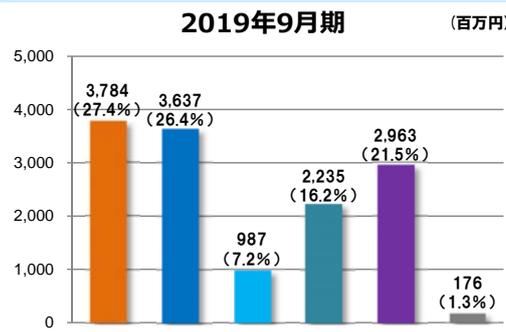
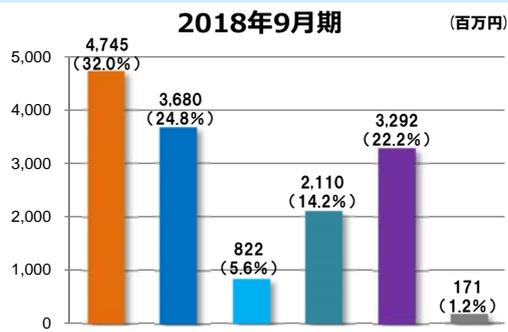
四半期純利益（百万円）

7億8千2百万円
（前期比 +54.5%）

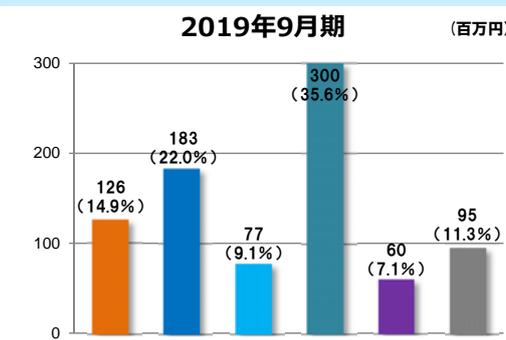
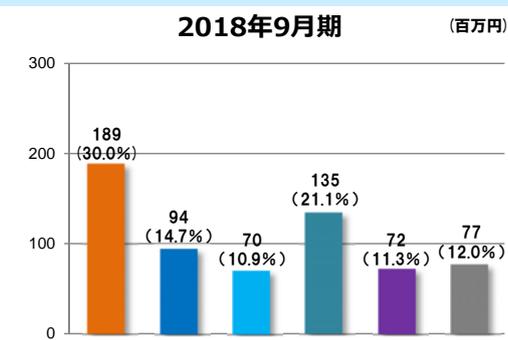


1. 2019年3月期第2四半期 ②決算概要 (セグメント別)

売上高



営業利益



資源・金属素材
関連

産機・建機
関連

環境設備
関連

プラント・設備工事
関連

化成品
関連

不動産賃貸
関連

注)
①売上高はセグメント間の内部売上高を含む。
②営業利益の構成比は、全社費用を除く報告セグメント合計を分母として算出。

4

2. 2019年3月期第2四半期 ①損益計算書 (連結)

(単位:百万円・%)

	前期 (2018.9)		当第2四半期 (2019.9実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	14,761	100	13,708	100	▲1,053	▲7.1
資源・金属素材関連	4,745	32.1	3,784	27.6	▲960	▲20.2
産機・建機関連	3,679	25.0	3,637	26.5	▲42	▲1.2
環境・設備関連	822	5.6	987	7.2	164	20.0
プラント・設備工事関連	2,110	14.3	2,235	16.2	125	5.9
化成品関連	3,292	22.3	2,963	21.6	▲329	▲10.0
不動産賃貸関連	110	0.7	176	0.9	5	3.0
売上総利益	2,662	18.0	2,840	20.7	177	6.7
販売費及び一般管理費	2,022	13.7	1,996	14.6	▲25	▲1.3
営業利益	640	4.3	843	6.2	203	31.8
営業外収支	64	0.4	126	0.9	62	96.9
経常利益	705	4.8	970	7.1	265	37.7
特別利益	101	0.7	180	1.3	79	78.5
特別損失	0	0.0	10	0.1	10	-
税引前四半期利益	805	5.5	1,140	8.3	335	41.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	506	3.4	782	5.7	276	54.5
1株当り四半期純利益(円)	40.56		67.46		26.9	
1株当り配当金(円)	16.50		19.00		2.5	

5

2. 2019年3月期第2四半期 ②損益計算書（個別）

（単位：百万円・％）

	前期 (2018.9)		当第2四半期 (2019.9実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	9,248	100	8,409	100	▲839	▲9.1
資源・金属素材関連	4,745	51.3	3,784	45.0	▲960	▲20.2
産機・建機関連	3,679	39.8	3,637	43.3	▲42	▲1.2
環境設備関連	822	8.9	987	11.7	164	20.0
売上総利益	2,082	22.5	2,087	24.8	5	0.2
販売費及び一般管理費	1,728	18.7	1,700	20.2	▲27	▲1.6
営業利益	354	3.8	387	4.6	33	9.3
営業外収支	43	0.5	75	0.9	32	74.3
経常利益	397	4.3	462	5.5	65	16.4
特別利益	0	0.0	180	2.1	180	-
特別損失	0	0.0	10	0.1	9	-
税引前四半期利益	396	4.3	632	7.5	235	59.4
四半期純利益	266	2.9	432	5.1	166	62.5
1株当り四半期純利益(円)	21.15		36.99		15.84	

6

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力のジルコンサンドは、セラミック市場の足踏み状態、中国経済減速により需要は弱含み
- 輸入原料は、アルミナ市況の下落・競争激化から減収
- 金属シリコンは、二次合金メーカーの生産量減少による買い控えで減収

（単位：百万円・％）

	売上高				受注高			
	前々期 (2017.9)	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期との差 (%)	前々期 (2017.9)	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期との差 (%)
ジルコン・チタン原料	1,966	1,372	1,261	▲111 (▲8.1)	1,786	1,363	1,307	▲56 (▲4.1)
輸入原料	734	1,428	974	▲454 (▲31.8)	792	1,627	881	▲746 (▲45.8)
金属シリコン	1,709	1,734	1,395	▲339 (▲19.6)	1,715	1,701	1,269	▲432 (▲25.4)
その他商品	158	211	155	▲56 (▲26.3)	151	218	165	▲54 (▲24.6)
合計	4,567	4,745	3,784	▲960 (▲20.2)	4,443	4,909	3,622	▲1,288 (▲26.2)
粗利益率	11.10	9.34	9.29	▲0.06	13.19	9.60	9.30	▲0.30

7

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産業機械は、各種ポンプ類の販売はおおむね前期並み
- 建設機械は、海外向けシールド掘進機の販売が軟調に推移

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2017.9)	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期との差 (%)	前々期 (2017.9)	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期との差 (%)
ワーマンポンプ(工事含)	1,566	1,505	1,600	95 (6.3)	1,573	1,590	1,646	56 (3.5)
ヒドロスタルポンプ(工事含)	460	336	522	186 (55.1)	802	850	1,065	214 (25.2)
その他ポンプ	185	206	234	28 (13.6)	243	287	308	21 (7.4)
その他産業機械	698	903	719	▲183 (▲20.3)	898	1,053	773	▲281 (▲26.6)
産業機械 計	2,910	2,950	3,075	126 (4.3)	3,515	3,781	3,792	11 (0.3)
シールド掘進機	268	659	514	▲145 (▲22.0)	489	515	500	▲15 (▲2.9)
その他建設機械	69	72	49	▲23 (▲32.4)	74	83	55	▲28 (▲33.3)
建設機械 計	337	731	563	▲168 (▲23.0)	563	598	556	▲43 (▲7.1)
合計	3,246	3,681	3,637	▲43 (▲1.2)	4,079	4,379	4,348	▲32 (▲0.7)

8

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備の販売が好調に推移
- プツマイスターポンプ関連は、売上高は減収となるも、受注高は大幅に増加

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2017.9)	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期との差 (%)	前々期 (2017.9)	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	204	199	467	267 (134.1)	194	226	299	73 (32.5)
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	267	469	246	▲223 (▲47.5)	383	287	587	300 (104.8)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	110	155	274	120 (77.3)	146	206	203	▲3 (▲1.5)
合計	581	823	987	164 (20.0)	723	718	1,089	370 (51.6)

9

3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 受注済の比較的大型の工事完工が進展し増収、大幅増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	増減額	増減率	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	2,110	2,235	125	5.9	3,463	3,191	▲272	▲7.9

10

3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- 子会社イズミが担うセグメント
- 自動車関連の競合厳しく、電線業界向け合成樹脂の需要も大きく落ち込み

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	増減額	増減率	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	増減額	増減率
化成品関連	3,292	2,963	▲329	▲10.0	3,406	2,933	▲473	▲13.9

11

3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- オフィスビルの稼働状況はほぼ100%と良好
- 賃貸土地からの賃料収入がフルに寄与

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2018.9)	当期 (2019.9)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	171	176	5	3.0

12

4. 貸借対照表 (連結) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2019.3)		当第2四半期末 (2019.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	19,253	60.4	17,690	59.1	▲1,562	▲8.1
現金及び預金	3,315		4,269		954	28.8
受取手形及び売掛金	9,207		7,843		▲1,364	▲14.8
完成工事未収入金	1,902		694		▲1,207	▲63.5
商品及び製品	2,956		2,442		▲513	▲17.4
未成工事支出金	1,504		2,279		775	51.6
その他	369		161		▲207	▲56.2
固定資産	12,601	39.6	12,252	40.9	▲348	▲2.8
有形固定資産	8,473	(26.6)	8,409	(28.1)	▲63	▲0.8
土地	6,331		6,331		0	0.0
建物及び構築物	2,004		1,947		▲57	▲2.9
その他	136		130		▲6	▲4.7
無形固定資産	117	(0.4)	110	(0.4)	▲6	▲5.7
投資その他資産	4,010	(12.6)	3,732	(12.5)	▲278	▲6.9
投資有価証券	3,071		2,789		▲281	▲9.2
その他	939		943		4	0.5
資産合計	31,854	100.0	29,943	100.0	▲1,911	▲6.0

13

4. 貸借対照表（連結） ②負債・資本の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2019.3)		当第2四半期末 (2019.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	11,610	(36.4)	9,205	(30.7)	▲2,404	▲20.7
支払手形及び買掛金	5,319		3,957		▲1,360	▲25.6
工事未払金	374		397		23	6.2
短期借入金	2,999		1,970		▲1,029	▲34.3
1年内返済予定の長期借入金	1,160		629		▲531	▲45.8
未払法人税等	511		391		▲119	▲23.4
賞与引当金	337		307		▲30	▲9.0
その他	906		1,550		643	71.0
固定負債	4,373	(13.7)	4,405	(14.7)	32	0.7
長期借入金	3,647		3,700		52	1.4
繰延税金負債	363		364		0	0.0
退職給付に係る負債	85		72		▲12	▲14.5
役員株式給付引当金	49		50		1	2.5
その他	227		217		▲9	▲4.2
負債合計	15,983	50.2	13,610	45.5	▲2,372	▲14.8
株主資本	15,639		16,234		594	3.8
その他の包括利益累計額	232		98		▲133	▲57.6
純資産合計	15,871	49.8	16,332	54.5	460	2.9
負債純資産合計	31,854	100.0	29,943	100.0	▲1,911	▲6.0
自己資本比率（％）	49.8		54.5		4.7	

14

4. 貸借対照表（個別） ①資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2019.3)		当第2四半期末 (2019.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	12,175	60.2	10,233	57.0	▲1,942	▲16.0
現金及び預金	1,961		2,297		335	17.1
受取手形	2,184		1,373		▲811	▲37.1
売掛金	4,857		4,028		▲829	▲17.1
商品	2,893		2,397		▲496	▲17.1
その他	278		136		▲142	▲51.0
固定資産	8,065	39.8	7,709	43.0	▲355	▲4.4
有形固定資産	664	(3.3)	649	(3.6)	▲15	▲2.4
土地	464		464		0	0.0
建物	121		117		▲4	▲3.5
その他	78		67		▲12	▲14.9
無形固定資産	108	(0.5)	104	(0.6)	▲4	▲3.6
投資その他資産	7,291	(36.0)	6,955	(38.8)	▲336	▲4.6
投資有価証券	1,017		693		▲324	▲31.9
関係会社株式	4,739		4,739		0	0.0
保険積立金	641		578		▲62	▲9.8
その他	893		944		51	5.7
資産合計	20,241	100.0	17,943	100.0	▲2,298	▲11.4

15

4. 貸借対照表（個別） ②負債・資本の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2019.3)		当第2四半期末 (2019.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	6,645	32.8	4,418	24.6	▲2,227	▲33.5
支払手形	1,506		998		▲508	▲33.7
買掛金	2,141		1,477		▲663	▲31.0
短期借入金	1,570		770		▲800	▲51.0
1年内返済長期借入金	447		354		▲93	▲20.9
未払法人税等	393		229		▲163	▲41.6
賞与引当金	259		248		▲11	▲4.2
その他	327		339		12	3.7
固定負債	885	4.4	695	3.9	▲189	▲21.4
長期借入金	736		564		▲172	▲23.4
退職給与引当金	55		41		▲13	▲24.7
役員株式給付引当金	49		50		1	2.5
その他	43		39		▲5	▲10.3
負債合計	7,531	37.2	5,114	28.5	▲2,416	▲32.1
純資産合計	12,710	62.8	12,828	71.5	118	0.9
負債純資産合計	20,241	100.0	17,943	100.0	▲2,298	▲11.4
自己資本比率（％）	62.8		71.5		8.7	

16

5. キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2018.9)	当第2四半期 (2019.9)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	▲250	2,298	税金等調整前当期純利益	1,140
			売上債権の増減額(▲は増加)	2,571
			たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲261
			仕入債務の増減額(▲は減少)	▲1,337
			未成工事受入金の増減額(▲は減少)	669
			法人税等の支払額	▲457
投資キャッシュ・フロー	357	369	有形固定資産の取得による支出	▲18
			投資有価証券の売却による収入	320
			保険積立金の積立による支出	▲160
			保険積立金の払戻による収入	230
財務キャッシュ・フロー	▲649	▲1,714	短期借入金の純増減額(▲は減少)	▲1,029
			長期借入金の返済による支出	▲826
			配当金の支払額	▲208
換算差額	0	0		
増減	▲542	954		
期首残高	4,249	3,315		
期末残高	3,707	4,269		

17

Ⅱ. 中期経営計画の進捗



18

1. 新中期経営計画 骨子

2019年度

2020年度

2021年度

新中期経営計画

Value Up Rasa 2021

～企業価値の創造～

築き上げてきた経営基盤を更に強化し
社会インフラを支える付加価値創出企業として
持続的な成長を目指す

19

2. 新中期経営計画 企業理念と経営基本方針

企業理念

世界に通用する一流技術商品と有用な価値ある資源を
国内外に販売し、豊かな社会に貢献する

経営基本方針

- 1 専門商社の枠組みを超えて、**社会のインフラを支える付加価値創出企業**として、持続的な成長を目指します。
- 2 重点施策の推進を通じて業績拡大を図り、**企業価値の向上**を目指します。
- 3 資本コストを意識した経営をベースに、**配当方針の見直し**も行い、**株主価値の極大化**に努めます。

20

3. 新中期経営計画 重点施策

- 1 グループ各事業における収益基盤の強化
- 2 グループ企業間・各事業間の連携強化とシナジーの拡大
- 3 ESGを意識した事業展開
- 4 コーポレート・ガバナンスの高度化
- 5 経営基盤の強化

21

① グループ各事業における収益基盤の強化

資源・金属素材関連

- ジルコンサンドに関する**高付加価値品**の取扱強化
- **新たな資源関連商材**の開拓
(高純度アルミナ、ジルコニウム化合物)

産機・建機関連

- 各種ポンプの運転履歴管理の徹底による更新需要の取り込み強化
- **BCP関連**製品（多目的可搬式ポンプユニット「BETSY」等）の拡販と新市場の開拓
- **東南アジア**における小口径シールド掘進機等の建設機械の拡販

環境設備関連

- **非鉄製錬ユーザー**等へのラサ・システムの販売強化
- 省エネやメンテナンス費用逓減を図る新材質の営業推進

プラント・設備工事関連

- 高品質素材（ステンレス、アルミニウム）の**特殊配管工事**の強化
- バイオマス発電、火力発電等の**エネルギー関連分野**での受注推進

化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した**海外向け需要**の更なる取り込み強化

不動産賃貸関連

- **グループ保有不動産**の有効活用による安定収益

② グループ企業間・各事業間の連携強化とシナジーの拡大

機械3事業間の連携強化とシナジーの拡大



産機・建機
関連

グループ企業間
の連携強化

ラサ商事(株)

旭テック(株)

大平洋機工(株)

環境設備
関連



プラント・
設備工事
関連



4. 新中期経営計画 経営目標と経営指標

(単位：百万円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (目標)
経営目標 (連結)	売上高	31,755	32,000	33,500
	営業利益	2,029	1,900	2,100
	経常利益	2,264	2,100	2,300
	親会社に帰属する 当期純利益	1,608	1,460	1,610
目標とする 経営指標 (連結)	ROE (自己資本当期純利益率)	10.2%	—	9%以上
	売上高営業利益率	6.4%	—	6%以上
	自己資本比率	49.8%	—	50%以上

24

5. 新中期経営計画 財務方針

投資 方針

財務の健全性に配慮しつつ、企業価値向上に資するM&A案件があれば、機動的に対処するとともに、将来を見据えた能力増強や業務効率化に資する投資も継続して行う。

* 本中期経営計画には新たなM&Aによる売上や収益への寄与は織り込んでおりません。

配当 方針

株主様への利益還元については、重要な経営課題との認識のもと、安定配当を基本方針とする。

配当性向は
引き上げる方針

【従来】
25%前後



【2019年度～】
30%前後

25

Ⅲ. 2020年3月期 業績見通し



26

1. 2020年3月期の業績見通し (連結)

売上高は減収、営業利益・経常利益は減益ながら、当期純利益は微増益を見込んでおります。

(単位:百万円・%)

【連結】	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	31,755	31,000	▲755	▲2.4
売上総利益	6,115			
販売費及び一般管理費	4,085			
営業利益	2,029	1,950	▲79	▲3.9
経常利益	2,264	2,150	▲114	▲5.0
当期純利益	1,608	1,610	2	0.1
1株当り当期純利益(円)	132.41	138.62	6.21	4.7

27

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

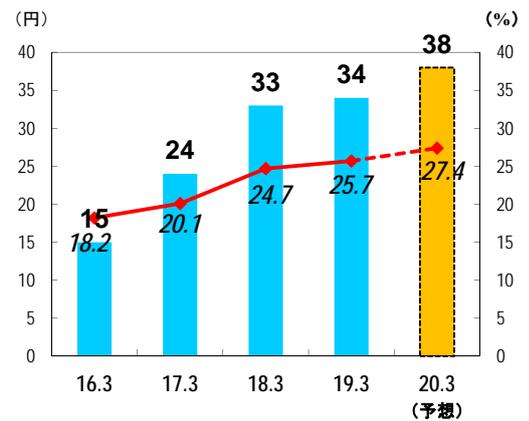
● **2019年3月期実績 34円**

【中間】16.5円 【期末】17.5円

● **2020年3月期予想 38円**

【中間】19円 【期末】19円

■ 配当金・配当性向の推移



配当方針 (2020年3月期より)

安定配当



配当性向
30%前後
の維持

【2019年3月期実績】 25.7%

【2020年3月期予想】 27.4%